

中心市街地活性化基本計画における観光関連指標の達成状況と成否要因に関する研究

法政大学 学生会員 ○外村 剛久

法政大学 正会員 宮下 清栄

1. 研究背景と目的

近年、観光とまちづくりの連携による「観光まちづくり」の地域活性化手法が注目されている。とりわけ地方中小都市においては、中心市街地の衰退や都市機能の郊外化等の問題が進んでいる中で、観光客の来訪による地域経済の活性化が注目されており、多くの自治体が施策を打ち出している。まちづくり施策では2006年に中心市街地活性化基本法(以下：中活法)が施行された。同法は自治体が指定した中心市街地内において、活性化のための事業を行い、地域活性化に寄与する事を目的としている。特徴としては、おおむね5年以内に達成できる様な計画を策定する必要がある、また進捗状況を定量的に評価できるように目標達成指標(以下：目標指標)が各自治体で複数設定されている。さらに、認定された年からフォローアップとして設定した目標指標の最新値を測定するとともに、同指標に寄与する事業の進捗状況について報告する義務が存在する。目標指標の中には、中心市街地地域の観光系施設の入込客数の増加等観光に関連したものが存在しており、観光とまちづくりの連携施策に関する1指標として捉える事ができる。そこで本研究では、中活法認定都市の設定した指標において、観光関連指標を抽出しフォローアップ報告書を用いて達成状況を把握・分析するとともに、指標達成に係る事業の進捗状況を調査し、当該指標の成否要因に関する基礎的な知見を得る事を目的とする。

2. 中活計画の認定状況と対象地域の概要

本研究では、平成24年10月現在で中活計画の認定を受けた106都市(地区)のうち、平成21～23年のフォローアップ報告を少なくとも1つ以上行った87箇所を対象として分析を行う事とする。人口規模別に都市(地区)の分類を行った中活計画の認定状況の概要を図1に示す。20～50万人の都市が最も認定が多く33存在した。また、50万人以上の都市は千葉市、名古屋市等の3大都市圏内の政令指定市も認定を受けている事が確認できる。20万人以上の認定都市は46都市であり、全認定の約半数を占めている現状である。

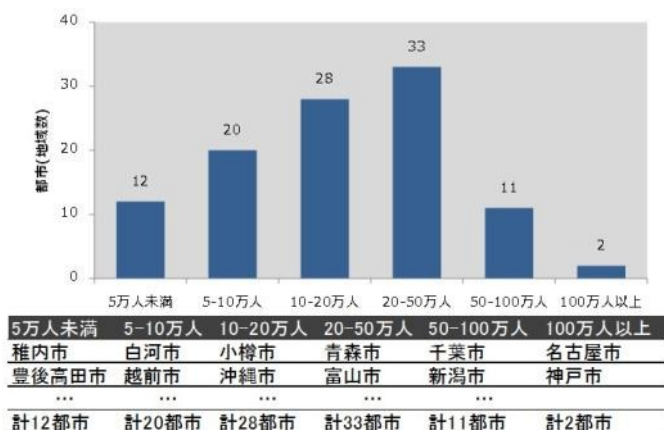


図1 人口規模別、中活計画の認定状況概要

3. 対象地域の目標指標の設定現況と観光関連指標の定義

観光関連指標の定義を行うために、対象地域の指標を全て収集し内閣府のフォローアップ取りまとめを参考にして指標の分類を行った。最も多く設定されているのは通行量で108であり、対象地域が87箇所のため1地域で2つ以上設定している事が明らかとなった。次いで居住人口、施設入込客数、販売額等の順に多い。空き店舗、公共交通機関利用は設定数が比較的少ない事が明らかとなった。観光に関する指標として、本研究では施設入込客数の観光施設に関する入込客数、その他の宿泊客数に関する指標及び観光に関する指標(中心市街地内の観光客数等)を観光関連指標として定義する。公共施設のうち文化施設は美術館・博物館等も含まれているため例外として対象に含めた。

表1 目標指標の概要		
目標指標	指標内容の例	指標設定数
通行量	繁華街、商店街等の歩行者通行量	108
居住人口等	夜間・昼間人口	61
施設入込客数	公共施設・観光施設の入込客数	48
販売額等	小売販売高	40
空き店舗等	中心市街地シェア	19
公共交通機関利用	空き店舗率	9
その他	鉄道、バス利用者数	43
	宿泊客数、その他施設利用者数	

キーワード 観光まちづくり、中心市街地活性化、観光関連指標、指標改善効果、水準達成率

連絡先: ☎162-0843 東京都新宿区市谷田町 2-33 法政大学デザイン工学部都市環境デザイン工学科 miyasita@hosei.ac.jp

4. 分析方法と各指標の定義

本研究では、達成状況を把握・分析するために、海道ら²⁾が定義した指標を用いる事とする。さらに、目標達成の進捗状況を量的に把握するために、本研究で独自に作成した水準達成率・事業達成率を用いる。また、これらの指標は全て目標指標に関するものである。基準値は計画提出前に測定した値であり計画期間内に達成する事を目的とした値が目標値である。最新値はフォローアップ報告に記載されている進捗状況を測定した数値である。趨勢値は施策を実施しない際の将来予測値であり、算出方法は各自治体によって異なる。設定水準は基準値に対する目標値の比率である。指標改善効果は最新値を基準値で除する事により算出し、現状の改善効果を示す。水準達成率は設定水準に対する指標改善効果の達成度を定量化、事業達成率は事業の進捗状況を測るための指標である。

5. 観光関連指標の達成状況

観光関連指標の指標改善効果と設定水準について整理したものを表3に示す。施設入込では千葉市が指標改善効果・設定水準ともに最も高くそれぞれ6.90、5.56であり、他都市と比べ非常に高い値となっている。次いで熊本市が1.93であり、水準達成率は59.0%と最も高い結果となっている。一方、水準達成率が0より小さいものは14都市と多く、伊丹市が-47.2%である。宿泊客では、藤枝市で指標改善効果・設定水準・水準達成率が最も高く2.96である。

6. 成否要因に関する分析

指標達成の成否要因を明らかにするために、水準達成率を目的変数として重回帰分析を行った。結果を表4に示す。説明変数は事業達成率、支援措置ダミー、設定水準の3変数である。サンプル数は説明変数のデータを有する12事業とした。重相関係数が0.779、自由度調整済決定係数が0.696であった。また事業達成率がもっとも相関が高く、次いで支援措置ダミー(変数)、設定水準であった。本分析の確認を行うために、施設入込客数において水準達成率が最も高い熊本市と、3番目に低い宝塚市を対象として比較分析を行った。結果を表5に示す。事業についてはフォローアップ記載の各指標に寄与すると位置づけられた事業のみ扱うものとする。熊本市は熊本城本丸整備や城周辺に観光交流施設等を整備しており、事業の全てに支援措置が与えられている。宝塚市は全ての事業が未達成であり、事業達成率が50%以下である事が明らかとなった。

7. 結論

観光関連指標の目標達成状況の把握では、施設入込では7都市、宿泊客では1都市のみが目標達成を行っていた。成否要因に関する分析では、事業達成率が最も水準達成率に寄与し、次いで支援措置の有無であった。熊本市では全ての事業で支援が受けられたが宝塚市では1事業のみであり、全ての事業が未達成であった。

表2 各指標等の定義

指標等名称	本研究における定義
基準値	中活計画認定前に測定した数値
目標値	中活計画期間内に達成する事を目的とした数値(目標指標)
最新値	最新のフォローアップ報告に記載されている進捗状況を測定した数値
趨勢値	中活計画に基づく施策を実施しない際の基準値の将来予測値
設定水準	基準値に対する目標値の比率 目標値/基準値により算定
指標改善効果	基準値に対する現状の改善効果 最新値/基準値により算定
水準達成率	設定水準に対する指標改善効果の達成度 正の値であれば目標達成、負の値であれば未達成となる (指標改善効果/設定水準) × 100 (%)
事業達成率	事業の進捗状況を測るための指標 事業によって発生した施設利用者、宿泊客等の実績値を目標値で除する

表3 観光関連指標の指標改善効果

	水準達成率≥0(目標達成)				水準達成率<0(目標未達成)			
	都市名	指標改善効果	設定水準	水準達成率	都市名	指標改善効果	設定水準	水準達成率
(観光施設入込客)	熊本市	1.93	1.21	59.0	伊丹市	1.01	1.91	-47.2
	大野市	1.70	1.25	36.1	奈良市	0.86	1.18	-27.3
	千葉市	6.90	5.56	24.0	宝塚市	0.86	1.12	-23.5
	鶴岡市	1.67	1.35	24.0	北九州市(小倉地区)	0.96	1.19	-19.6
	高崎市	1.13	1.06	6.94	青森市	1.59	1.87	-15.1
	盛岡市	1.05	1.02	2.96	弘前市	1.00	1.17	-14.3
	豊後高田市	1.54	1.54	0.26	中津川市	0.97	1.11	-12.6
	大津市	1.19	1.20	-0.62	松江市	1.00	1.13	-11.5
	敦賀市	1.05	1.05	-0.22	鹿児島市	1.06	1.18	-10.2
	達成水準率≥0:7都市(地区)				鳥取市	1.07	1.12	-4.37
(宿泊客)	藤枝市	2.96	1.48	99.68	直方市	0.98	1.02	-4.1
	四万十市	1.04	1.03	0.89	宇野市	1.07	1.11	-3.70
	別府市	1.04	1.03	1.21	小樽市	0.89	1.04	-14.13
	達成水準率>0:3都市(地区)				水準達成率≤0:1都市(地区)			

表4 重回帰分析結果 *：有意水準1%で有意

回帰統計		項目	係数	t	P-値
重相関係数	0.779	切片	-0.257	-3.358	0.010
自由度調整済決定係数	0.696	事業達成率*	0.041	4.391	0.002
標準誤差	0.136	支援措置ダミー	0.105	1.228	0.254
サンプル数	12	設定水準	0.015	0.976	0.358

表5 熊本市と宝塚市の事業達成状況比較

都市	指標改善効果	水準達成率	事業名	事業主体	支援措置	フォローアップ	事業達成率	達成状況
熊本市	1.93	59.0%	地域創造支援事業本丸御殿元整備事業	熊本市	まちづくり交付金	目標値 93,000人 最新値 159万人 城彩苑の入場者数は開業後1年間で約140万人に到達し熊本城の入場者に大きく寄与している	1710%	達成済み
			地域創造支援事業「桜の馬場」活用推進事業	熊本市	まちづくり交付金			達成済み
			高次郎市施設 熊本城様の馬場観光交流施設整備事業	熊本市	社会資本整備総合交付金(都市再生整備事業)			達成済み
			熊本城様の馬場飲食物販施設設置事業	熊本城様の馬場リテール(株)	戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金			達成済み
宝塚市	0.857	-24%	宝塚市立宝塚文化創造館整備事業	宝塚市	まちづくり交付金	目標値105,000人 最新値5,302人 PR不足の影響により予定の集客がなかった 目標値45,000人 最新値4,698人 PR不足の影響により予定の集客がなかった 目標値20,000人 最新値5,780人 県や関連事業への連携は強めたが各国に対するアピールは行き届かなかった	5.0%	未達成
			宝塚市立宝塚文化創造館	宝塚市	なし		10.4%	未達成
			アニメによる海外観光客誘致事業	宝塚市	なし		28.9%	未達成